

東中野駅東口周辺 まちづくり基本方針（素案） 説明会

【実施日】

2026年1月17日（土）、1月22日（木）、1月24日（土）

中野区まちづくり推進部まちづくり計画課

◆ 本説明会でお伝えしたい事項

- ✓ 東中野駅東口周辺まちづくり基本方針(素案)の内容
- ✓ 素案に対する意見募集を含む今後の予定

◆ 本日の流れ

- (1) これまでの検討経過
- (2) 東中野駅東口周辺まちづくり基本方針 (素案) について
- (3) 今後の予定
- (4) その他

(1) これまでの検討経過

【まちづくり基本方針策定までの流れ】



【2025年度実施】

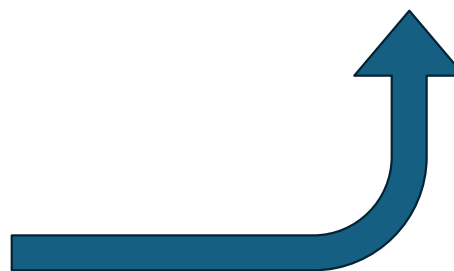
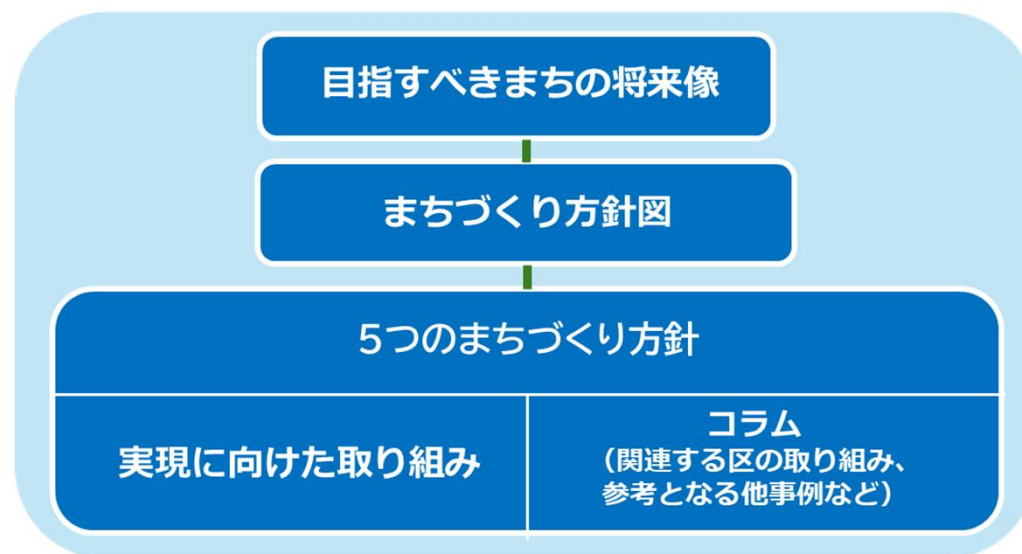
- 2025年6月：基本方針たたき台の公表（議会報告）
- 7月：オープンハウス及び町会・商店会向け意見交換会の開催
- 7月～8月：たたき台に対する意見募集（Webアンケート）
- 12月：基本方針素案の公表（議会報告）
- 2026年1月：基本方針素案説明会

(2) 東中野駅東口周辺まちづくり基本方針（素案）について

“まちづくりの方針と実現に向けた取り組み”の構成

【構成】

- 策定目的
- 位置づけ
- 検討範囲
- 上位計画・関連計画
- まちの現況
- まちづくりに関する地域住民等からの意見
- まちの課題等の整理
- まちづくりの方針と実現に向けた取り組み



➤ 策定目的

駅舎等のバリアフリー化を含め、東中野駅東口周辺地域が抱える諸課題を解決し、まちの魅力向上を図るためのまちづくりの基本的な考え方を整理する。

➤ 検討範囲

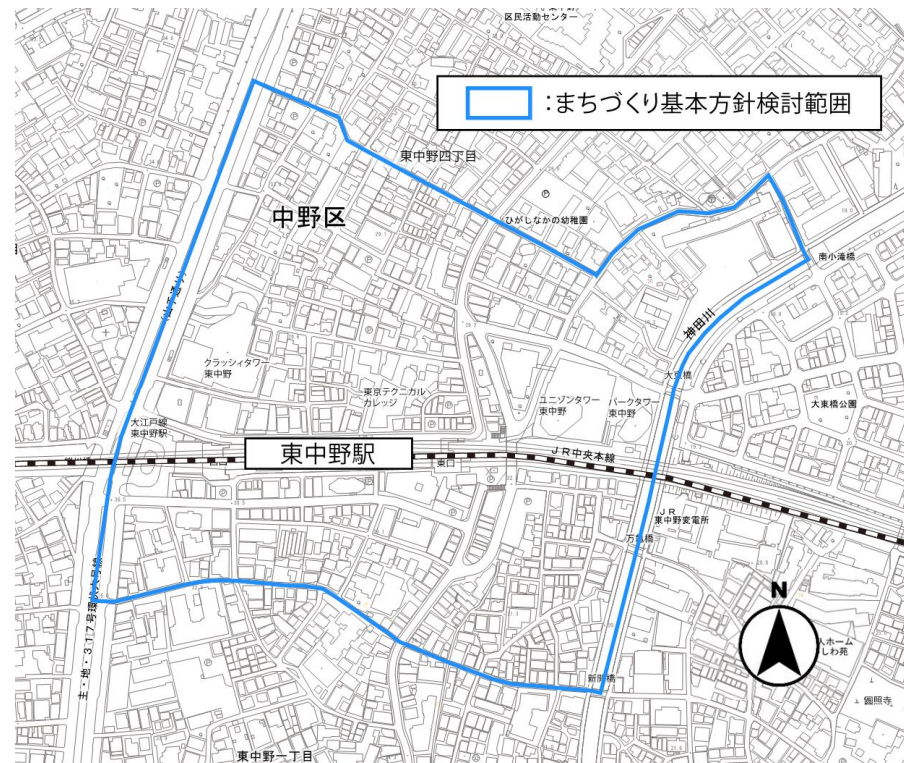


図 東中野駅周辺まちづくり基本方針検討範囲図

- まちの現況
- まちづくりに関する地域住民等からの意見
- まちの課題等の整理

バリアフリー

「東口周辺がバリアフリー化されていない」

➤ 駅および駅周辺において、バリアフリー対応の動線が十分に確保されていない。

「駅を挟んだ南北方向の回遊性が乏しい」

➤ 南北方向にもバリアフリー対応の動線がないため、東口周辺での回遊が生まれにくくなっている。

地域住民等からのご意見（抜粋）

- バリアフリーも大切ですし、東口はベビーカーやお年寄りがエスカレーターもなく、時々スーツケースを持った方が苦勞されているのも見受けられますので、改善されると嬉しいです。
- 東口側は歩道がすくなく車の通行量が多く、また南北の線路の行き来も非常に渡りにくく危ない

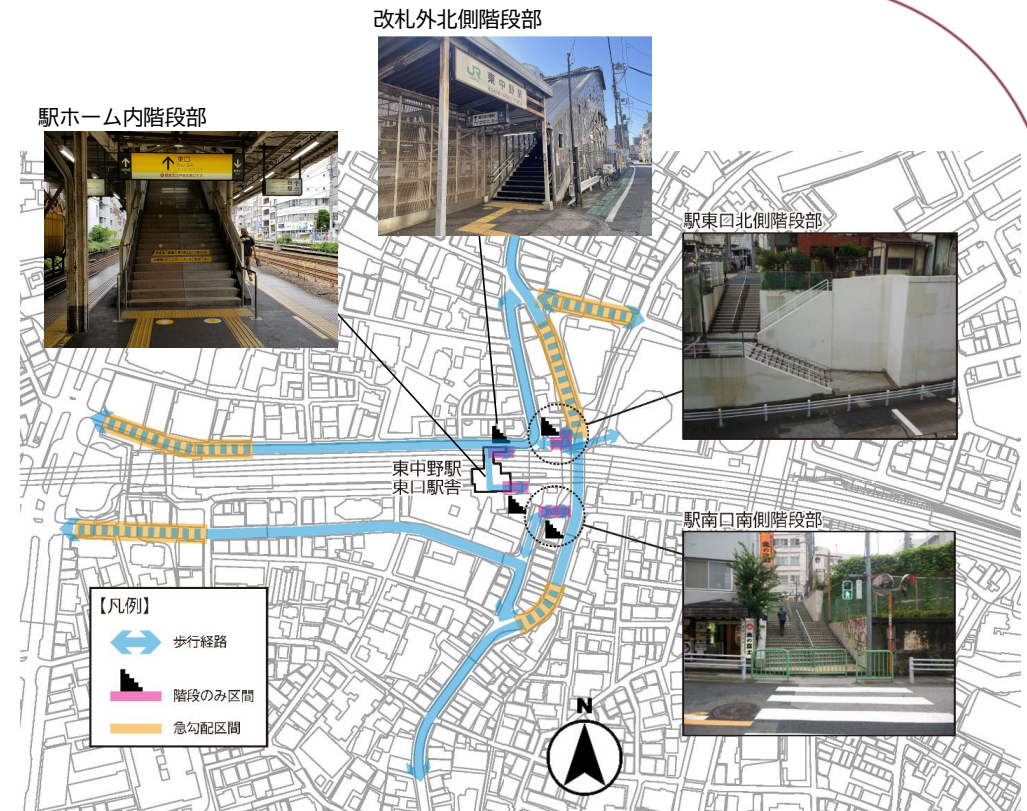


図 東中野駅周辺の主な歩行経路における階段設置箇所、急傾斜区間

「駅周辺のにぎわいが失われつつある」

➢ 東口周辺における商店の減少により、かつてのにぎわいが失われつつあり、駅前においては東中野らしいにぎわいを創出するための土地利用が求められている。

「駅周辺にオープンスペースが不足している」

➢ 東中野駅周辺には様々なコミュニティが存在し、お祭りなどのイベント開催の需要がありますが、東口周辺には広場などのオープンスペースがないため、多くの人を集めるイベントの開催が難しい。



歩行者天国の様子（1975年頃）
（出典：でじなか [中野区立図書館ホームページ]）

地域住民等からのご意見（抜粋）

- ・今はマンションだらけの商店街になりつつありますので今後若い方や長年住んでる方が交流できるような所ができましたらすてきですね。
- ・東中野は、学生の乗降客が多く、学校や地域活動との連携を駅周辺で行うことで住民が安心して住める地域になると感じます。
- ・大きなスペースは不要ですが、少し腰掛けられるようなベンチや椅子、また雨天時に短時間凌げる屋根のあるスペースがもう少し確保できると良いかと思います。

「東口周辺における防災機能が不足している」

- 避難所が東口周辺地域からは距離があり、災害時の避難に不安を感じる声がある。
- 駅周辺に帰宅困難者を受け入れる一時滞在施設がない。

地域住民等からのご意見（抜粋）

- ・ 災害に強い街づくり。また被災しても安全に避難、避難生活でできる備蓄や準備が自治体主体でして欲しい。
- ・ 大規模災害があった際の避難所などほぼ地域には無いに等しいこともしっかりと調査して取り組むべき。
- ・ 防災はもちろん、治安の問題、夜でも歩けるような街であってほしい。

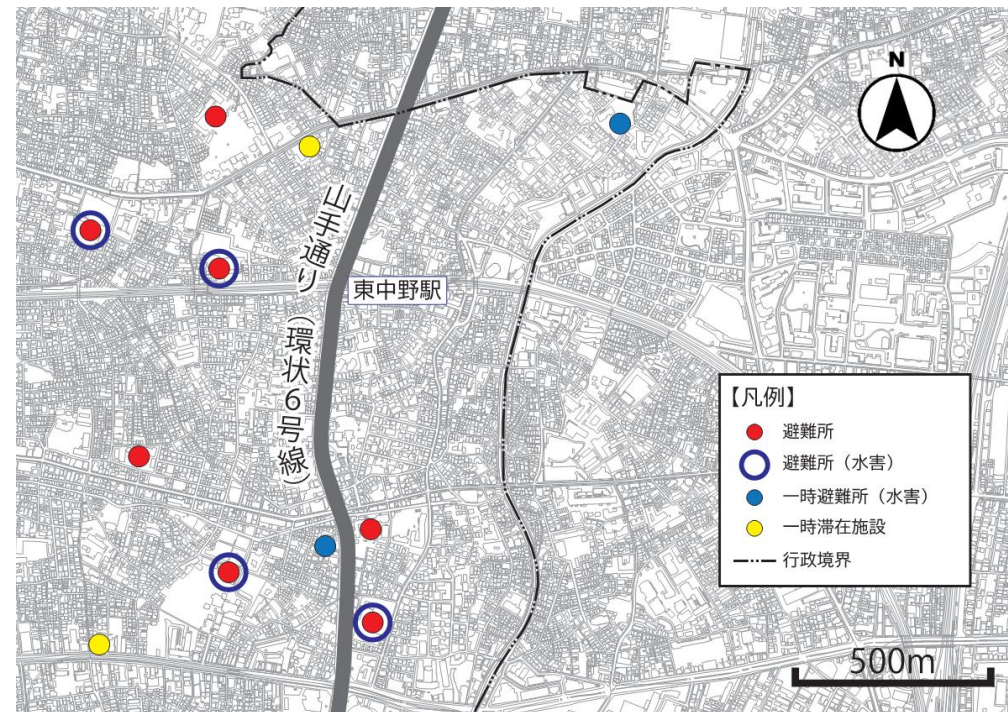


図 東中野駅周辺における避難所・一時滞在施設の立地状況

「神田川沿いの自然が豊かである」

- 神田川沿いには多様な樹木が植えられており、自然を身近に感じることができる。春には桜が咲き、地域住民等から親しまれている。

「対象地域に公園がない」

- 対象地域内には、住民が気軽に利用できる公園がない。



春の神田川沿いの様子

地域住民等からのご意見（抜粋）

- ・ 神田川沿いの桜は毎年綺麗に咲くのであの綺麗な景観は残して頂きたいです。
- ・ おかのうえ公園のような、開放的で明るい公園がもう少しあると良いと思います。
- ・ 神田川沿いはウォーキングコースとして素晴らしいのですが、ブロックがガタガタして歩きにくいところがあります。時々、つまずきそうになり少し危ないかも。

「都心へのアクセスに優れ、 落ち着いた住環境が広がっている」

- 東中野駅は新宿駅に隣接し、駅周辺は飲食店などの商業地としてにぎわっているが、その周囲には良好な住環境の住宅地が広がっている。

「駅周辺ではみどりが十分に確保されていない」

- 駅前を中心に、まちなかのみどりが少ない。

地域住民等からのご意見（抜粋）

・現状、都心に近いながら静かな街が広がっていると思います。既存の街を無視した再開発ではなく、今の街の魅力を守りながら、駅前のユニバーサルデザイン化、公共福祉施設の充実、滞留できる緑地空間の整備をしていただきたい思います。

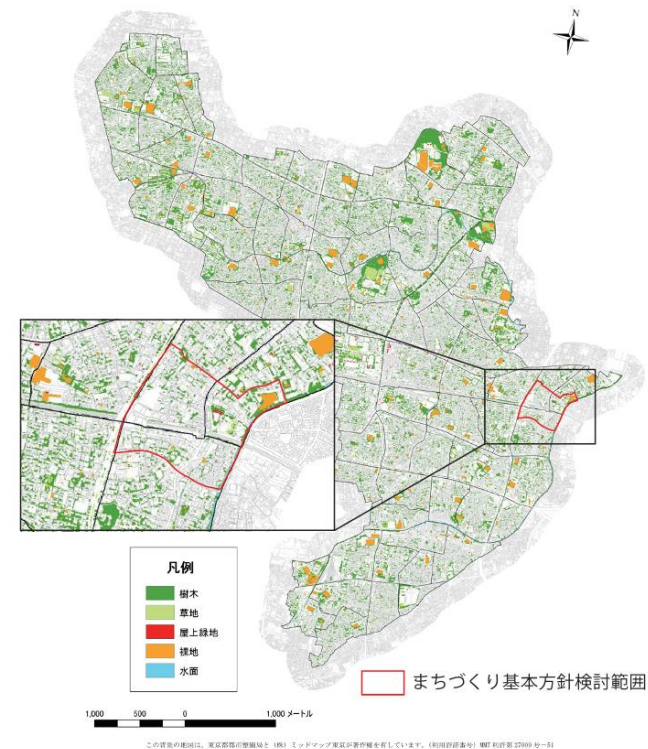


図 緑被分布図（出典：中野区緑の実態調査
〔第5次・2016年度実施〕）

【東中野らしさ・アピールポイント】

代表的・典型的な意見等

- 新宿や中野へのアクセスが抜群に良いため、買い物やレジャー、施設利用に非常に便利です。JRと地下鉄の両方が使えるので、行先によって使い分けができる点も大きな強みです。
- JR、都営、メトロ（落合駅）の三路線利用化な鉄道利便性と山手通りに面した車の利便性が両立している点。
- 昔ながらの個人店。美味しいお店。都心に近いながらも落ち着いている街や雰囲気。
- 昔から続く商店街に活気があり、程よいにぎわいがあるところだと思います
- 敷居の低い面白い個店・飲食店が多いこと。中野区唯一であり、全国からも人の来る社会派映画館「ポレポレ東中野」や「パオ」「梅若能楽堂」に代表されるように、独自の文化をもったお店や施設、町会・商店街があり、それにプライドを持ち育てる人々がいること。
- 東中野には「個性的・魅力的なお店」や「盛んな地域活動」といった既存の魅力があります。これらを尊重し、「人と人とのつながりを大切にす地域性」や「個人が経営する個性豊かなお店が多く区内外問わず来客があり、まちのにぎわいの大切な要素の一つ」となっている、東中野特有の文化を継承・発展させる形での「にぎわいづくり」を目指すべきです。
- 新宿に近いのに騒がし過ぎず、お祭りなどで近所付き合いもあって、都会であり田舎のような人間関係が築けるところではないかなと思っています。
- 都心に近い静かな街。四季折々の風情を楽しめる神田川がある。
- 神田川沿いの桜並木や、山手通りの整備された歩道など、都市の中にも自然を感じられる場所が多く、散策にも適しています。都会に近くても静かなところが気に入っています。
- 都心に近いアクセスの良さをもちながら治安が良く落ち着いているところ。
- 都心に近いが静かな住宅地で、人の往来も多過ぎず治安もいい。
- 新宿からの近さ、駅前の買い物の利便性、閑静な住宅街

都心近接の交通利便性

ターミナル駅である新宿駅に隣接し、JR・東京メトロ・都営大江戸線など複数の鉄道路線が利用できるため、交通アクセスの利便性が高い地域であること。

適度なにぎわいを形成する個性豊かな個店、地域コミュニティ活動

- ・地元根ざした個人経営の飲食店や商店が多く、昔ながらの商店街があること。
- ・個性豊かな映画館などが点在し、地域の文化や特色が感じられること。
- ・地域活動やお祭りなどを通じて、住民同士のつながりが受け継がれていること。

神田川沿いの桜並木などの自然

神田川沿いの桜並木や緑豊かな歩道など、自然や四季の移ろいを感じられること。

静かで落ち着いた住環境と治安の良さ

- ・都心に近い立地でありながら、治安が良く、静かで落ち着いた住環境が守られていること。
- ・買い物など日常生活の利便性が高いこと。

➤ まちづくりの方針と実現に向けた取り組み

◆ 目指すべきまちの将来像

駅とまちがバリアフリー化され、
東中野らしいにぎわいと
良好な住環境が共存するまち

“東中野らしい”とは・・・


都心近接の
交通利便性


適度なにぎわいを形成する
個性豊かな個店、
地域コミュニティ活動

神田川沿いの
桜並木などの
自然

静かで落ち着いた
住環境と
治安の良さ


◆ まちづくり方針図


 **東口駅前拠点検討エリア**
民間開発を誘導し、駅前に
ふさしい姿について検討するエリア


 **南北連携軸（バリアフリー対応）**
東口の南北の連携を強化
⇒方針1・2・3


 **西口駅前拠点エリア**

 **商業・業務ゾーン**

 **住商共存ゾーン**

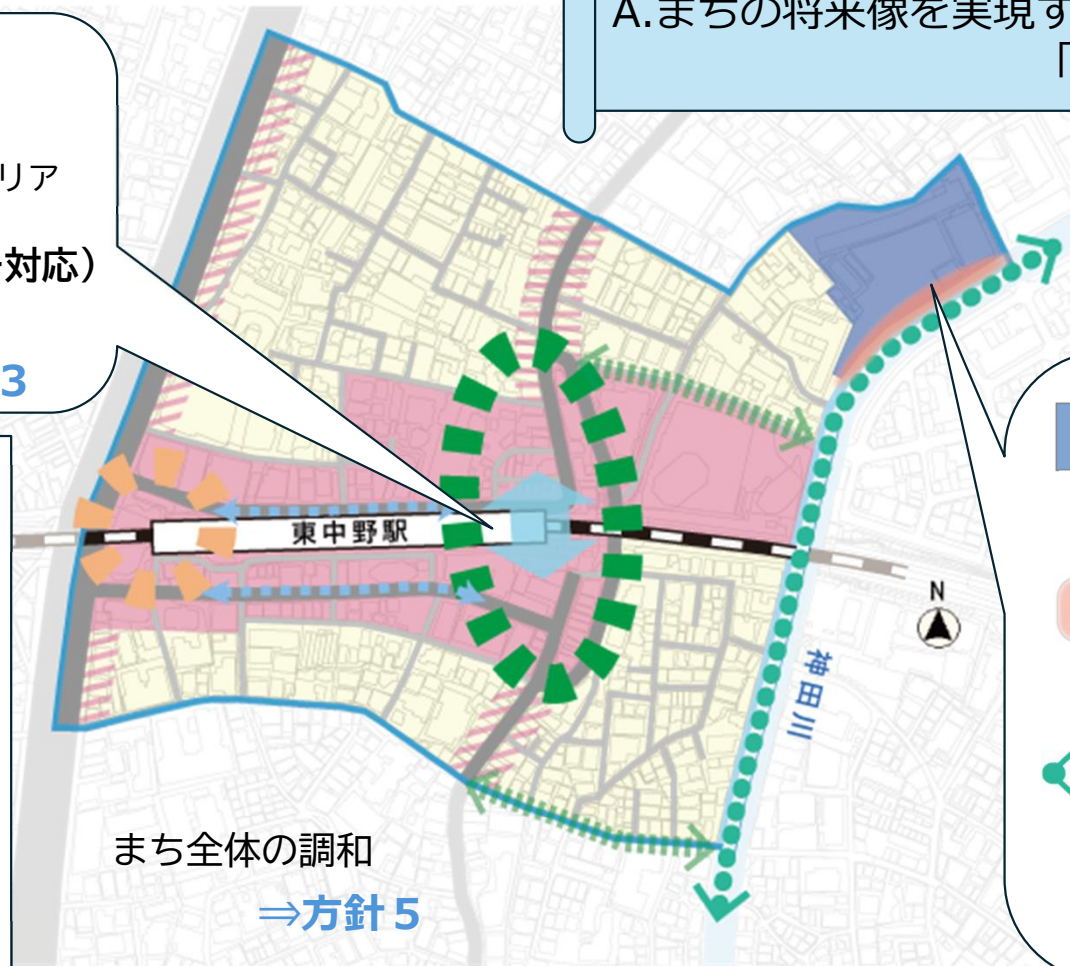
 **中層住宅ゾーン**


 **東西連携軸**


 **まちとみどりの連携軸**


Q.まちづくり方針図とは？

A.まちの将来像を実現するための
「土地利用の地図」のこと。



 **公共施設等検討ゾーン**
公共施設等用地や民間活力の
活用等を検討するゾーン

 **憩いの場検討エリア**
地域住民が集う憩いの場づくり
を検討するエリア

 **水とみどりの親水軸**
神田川を活かした自然と
親しめる空間やにぎわいを形成

⇒方針4

図 まちづくり方針図

◆ 各方針と実現に向けた取り組み

方針1

バリアフリー化され誰もが安全に通行できるまちづくり

➤東中野駅東口周辺のバリアフリー化を実現して、誰もが移動しやすく安全に通行できるまちを目指します。

○東口駅舎および駅周辺の歩行経路のバリアフリー化

東口駅舎のバリアフリー化について、鉄道事業者を始めとした関係者と実現に向けた方策について検討を進めていきます。

また、駅前広場空間の整備と併せて、東中野駅東口周辺の地形上の段差についてもバリアフリー化を図ります。

さらに、駅を挟んだ南北のバリアフリー経路の確保に向け、民間開発による一体的な整備も視野に入れながら、関係者と検討を進めます。

東口と西口をつなぐ東西連携軸を踏まえ、東西の回遊性・安全性を高める歩きやすいまちづくりを検討します。



図 バリアフリー経路（想定）

東中野らしいにぎわいが生まれるまちづくり

➤誰でも安心して気軽に立ち寄れる居心地の良い空間を創出し、そこでの多様な人々の活動により、東中野らしい交流と暮らしの中での適度なにぎわいが生まれるまちを目指します。

○駅前にふさわしい都市空間の創出

東口駅前拠点検討エリアでは土地の高度利用化を図り、民間の都市開発等を誘導します。その際に、人々が集まることができるオープンスペースやゆとりある歩道状空地の確保、低層部への商業・業務機能の導入など、誰でも安心して気軽に立ち寄れる居心地の良い都市空間の創出に向けた検討を進めます。

○オープンスペースを活用したにぎわいづくり

民間開発等により創出されるオープンスペースについては、東中野の文化の一つであるお祭りなどの地域活動や、東中野らしい適度なにぎわいづくりなどに取り組むことを検討します。

○魅力とにぎわいのある商業環境の形成に関する検討

主に駅東側道路沿いで、魅力ある街並みの形成について商店街を中心とした地域の方々と検討します。



駅前空間をイベントに活用している例（中野区）

安全で安心して過ごせるまちづくり

➤災害時にも避難や一時滞在できる場所を確保し、住む人だけでなく訪れた人も安全・安心に過ごせるまちを目指します。

○防災機能の確保に向けた検討

旧中野区立第三中学校が避難所であった経緯から、跡地活用の検討の際には防災機能の誘導について検討していきます。

また、東口駅前拠点検討エリアで民間開発が行われる際は、災害発生時に帰宅困難者を受け入れる、一時滞在施設の誘導を検討します。

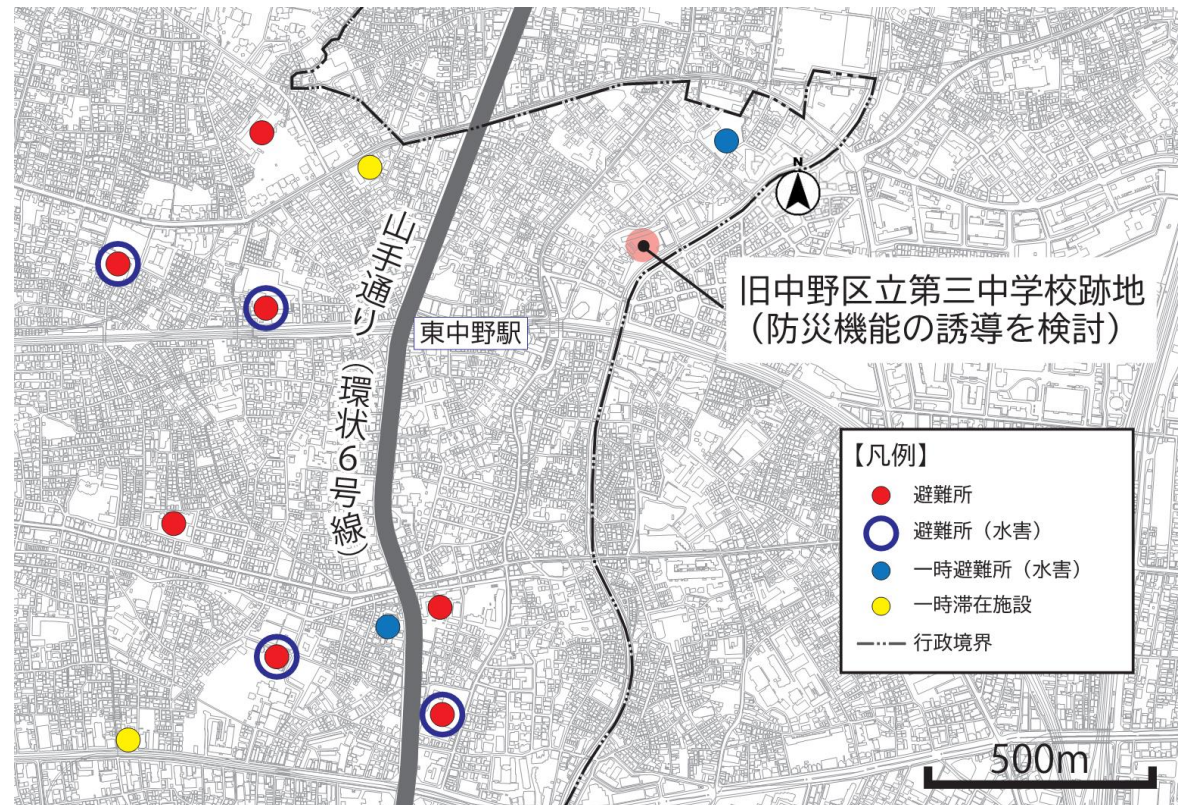


図 防災機能の誘導場所 (想定)

水辺を活かしたまちづくり

➤今ある魅力をさらに高めるために、地域住民の憩いの場である神田川沿いを、景観に配慮した質の高い空間にするとともに、休憩スペースや公園などを確保して、より居心地のいい水辺空間の形成を目指します。

○自然に親しめる居心地の良い水辺空間づくり

神田川沿いは東中野地域の中でも自然豊かな場所となっており、地域住民等にとっても憩いの場となっています。春には桜が咲き、区内でも有数のフォトスポットとして知られていますが、今後はその魅力をさらに高めるために、区有施設の敷地の一部を活用して、河川沿いに公園や休憩場所などの桜に親しめる場づくりを検討します。

○人の流れづくり

東中野駅東口周辺から神田川方面に人の流れを誘導します。にぎわいを広げていくために、景観やまちのコンセプトに配慮した誘導サイン（案内表示）を設置することを、民間開発事業者とも連携しながら検討します。

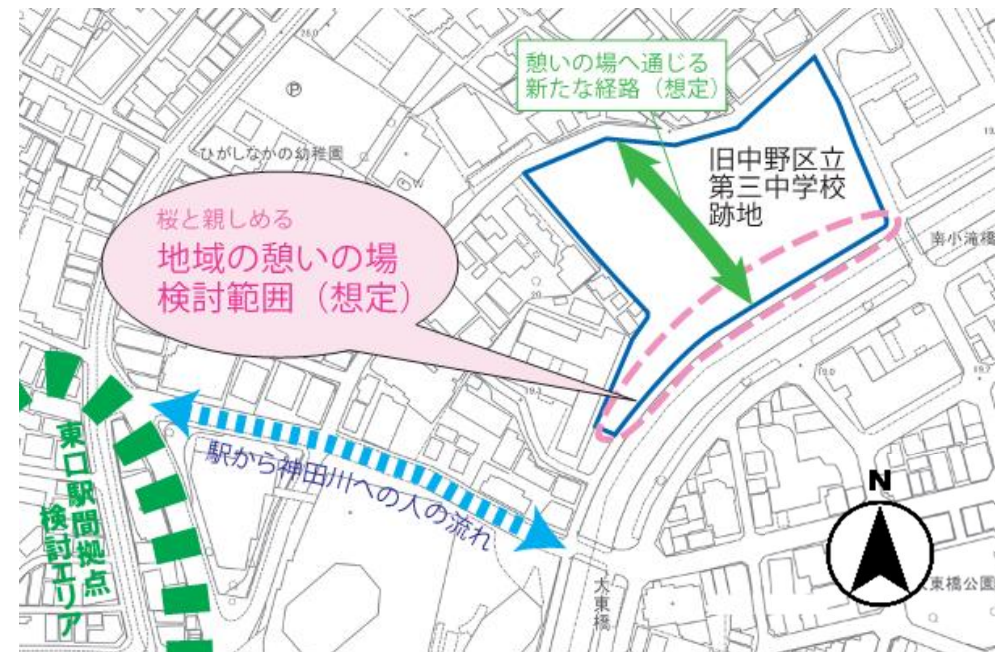


図 旧中野区立第三中学校周辺地図

都心に近いながらも良好な市街地が広がるまちづくり

- 駅前通りを中心ににぎわいを生み出しつつ、後背地に関してはこれまでの良好な住環境を維持することにより、都心に近く利便性の高い、住み心地の良いまちを目指します。
- また、民間の都市開発等が行われる際には良質な植栽を設けるなど、まちなかのみどりを増やすための取り組みも検討します。

○質の高いみどりの誘導

東口駅前拠点検討エリアで一定規模以上の民間都市開発等が行われる際には、量を増やすだけでなく質の高い緑化による、みどり豊かで潤いのある快適な都市環境の創出を誘導します。

○地区計画における緑化率の設定

中野区では、環境共生型のまちづくりとして、地区計画や任意のまちづくり計画に脱炭素の推進に資する方針等を位置付けることを目指しています。今後、地域からの発意を受けて地区計画が策定される場合は、地域の実情や意向を踏まえた上で緑化率等の基準を設け、まちなかのみどりを増やす取り組みを進めていきます。



民間都市開発により創出されたみどり
(中野セントラルパーク) 18

(3)今後のスケジュール

2026年1月 素案説明会
// 1月～ 意見募集
2026年4月以降 案の公表

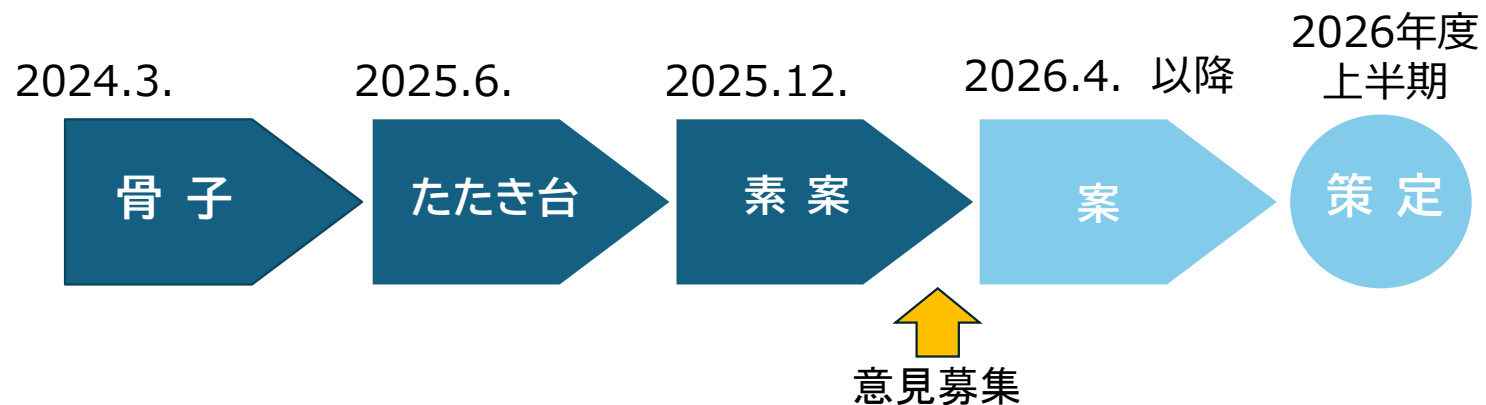
Webの専用フォーム等にて
素案に対する意見を募集します！

詳しくはこちら→



Web専用フォーム

2026年度上半期に策定予定



(4)その他

【東中野駅東口バリアフリー化の調査について】

- JR東中野駅東口バリアフリー化の整備実現に向けて、東口駅舎と自由通路整備の検討をさらに深めるため、JR東中野駅鉄道敷地内及びその周辺において基礎的な調査を行う。

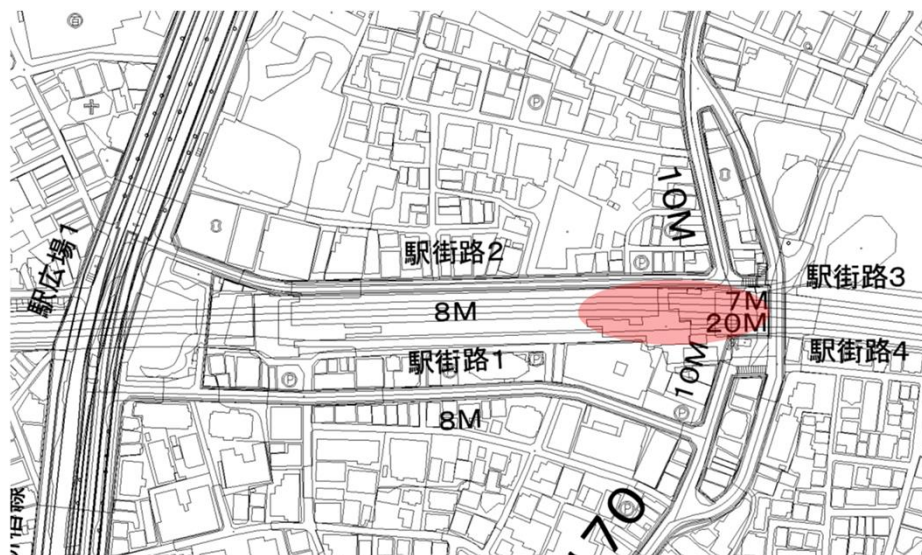


図 調査箇所（想定）

- 調査は、東日本旅客鉄道（株）が実施
- 検討の基礎資料として以下を調査
 - ・ 施設計画（土木・建築）、設備計画（電気）、施工計画、概算工事費、概算工期など
- 中野区と東日本旅客鉄道（株）の間で調査に係る協定を締結し、年度内で調査予定
- 東口駅舎南側におけるまちと駅の一体的なバリアフリー化のため、駅前の広場空間整備についても検討する。

ご清聴ありがとうございました！

お問い合わせ先

中野区まちづくり推進部

まちづくり計画課まちづくり計画係

担当 二崎、上村

☎ 03-3228-5463

✉ matidukurikeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp